

Dubai World Cup Day 2025

ドバイワールドカップデー

4月5日(土)

アラブ首長国連邦ドバイ
メイダン競馬場

ドバイゴールデンシャヒーン(G1)
Dubai Golden Shaheen

ドバイターフ(G1)
Dubai Turf

ドバイシーマクラシック(G1)
Dubai Sheema Classic

ドバイワールドカップ(G1)
Dubai World Cup

※変更情報はJRAホームページ等でご確認ください。



中山11R

ダービー卿チャレンジトロフィー(GIII)

阪神11R

チャーチルダウンズカップ(GIII)
(NHKマイルカップトライアル)

[前日発売]

大阪杯(GI)

海外競馬解説者・合田直弘氏によるレース展望★

ドバイゴールデンシャヒーン (G1) ドバイ・メイダン競馬場 ダート1200メートル 3歳以上

日本時間 4月5日(土) 23時40分発走予定

※発走時刻は変更となる場合があります。
変更情報は、JRAホームページなどでご確認ください。

米国対UAE勢の構図に日本馬が迫る

過去10回を振り返ると、半数以上の6回は米国調教馬が制し、残る4回のうち3回はUAE調教馬が制している一戦。今年も、米国とUAEを代表する馬同士による一騎打ちムードとなっている。

米国から参戦するのが、昨年のエクリプス賞最優秀短距離牡馬という金看板を背負う**ストレートノーチェイサー**(牡6歳)だ。今季初戦となった現地2月22日のG2リヤドダートスプリントでも、後続に3馬身3/4差をつける圧巻のレースぶりでした。メイダンの馬場にフィットするかどうかという課題はあるが、本来の力を出せば主役候補である。

迎え撃つUAE勢の代表格が、昨年に続くこのレース連覇を目指す**タズ**(騾8歳)だ。4歳時からUAEにおけるこの路線の重賞に顔を出していたが、本格化したのは7歳時で、昨年のこのレースを制しG1初制覇。今季はさらに一段ギアを上げており、約5馬身差で制した3月

1日のG3マハブアルシマールを含めて、ここまで4戦無敗の成績を残している。

UAE勢では、マハブアルシマールで4着に入り、6度目の重賞入着(5着以内)を果たした**カラーアップ**(騾7歳)も本番に駒を進めてくる。

早めに現地入りし、地元の前哨戦マハブアルシマールでタズの2着になったのが**アメリカンステージ**(牡3歳)だ。古馬との斤量差が、前走の4.5キログラムからここでは3.5キログラムに縮まるが、それでも十分に魅力的な条件と言える。

海外重賞3勝の実績を誇る**リメイク**

(牡6歳)。このレースは3年連続の出走となるが、2023年が5着、24年が4着と、悪くない競馬を見せている。

芝でもダートでもハナを取りきることが出来るスピードが魅力の**ジャスパークローネ**(牡6歳)。実戦で走るの初めてとなるメイダンのダートが合えば、大駆けの可能性もありそう。

中山、京都、阪神、大井、盛岡と、条件の異なる5つの競馬場で、オープンクラスの2着以上の実績がある**クロジシジョー**(牡6歳)。その多才さは、海外遠征では大きな武器になるはずである。

●主な出走予定馬

馬名	調教国	性別	年齢	戦績	主な勝鞍
アメリカンステージ	日本	牡	3	7戦 3勝	24中京2歳S(オープン)
クロジシジョー	日本	牡	6	31戦 6勝	24ジャンプスリーS、令月S ※すべてオープン
ジャスパークローネ	日本	牡	6	23戦 6勝	23CBC賞、北九州記念 ※すべてGⅢ
リメイク	日本	牡	6	20戦 9勝	22カペラS、23・24コリアスプリントなどGⅢ/G3/JpnⅢ・5勝
ストレートノーチェイサー	米国	牡	6	11戦 7勝	24ブリーダーズCスプリント(G1)
タズ	UAE	騾	8	23戦10勝	24ドバイゴールデンシャヒーン(G1)



アメリカンステージ



クロジシジョー



ジャスパークローネ



リメイク



ストレートノーチェイサー

写真: AP/アフロ



タズ

写真: ロイター/アフロ

当コーナーの情報は3月25日時点のものです。出走回避・出走取消などによりレースに出走しない可能性があります。
当コンテンツの内容においては、JRAが特定の馬の応援や推奨などを行うものではありません。

Dubai World Cup Day

海外競馬解説者・合田直弘氏によるレース展望 ☆

ドバイターフ

G1

ドバイ・メイダン競馬場 芝1800m
北半球産馬4歳以上、南半球産馬3歳以上

日本時間 4月6日(日) 0時15分発走予定

※発走時刻は変更となる場合があります。
変更情報は、JRAホームページなどでご確認ください。

香港の雄に各国の猛者が挑む

他陣営も一目置く断然の主要候補が、香港調教馬**ロマンチックウォリアー**（牝7歳）だ。4歳時から3年連続で世界ランク入りを果たしてきた実力馬だが、ここへ来てさらにレベルアップ。トラックレコードで快勝した現地1月24日のG1ジェベルハッタ、初ダートをものともせず勝利まであと一步に迫った2月22日のG1サウジCと、ここ2戦で見せたパフォーマンスを通じて世界的評価は爆上がりである。

米国、カナダ、ドイツの3か国で芝1900m～2000mのG1を4勝しているのが、ゴドルフィンの**ネーションズプライド**（牡6歳）だ。5歳最終戦のG2バーレーンインターナショナルT10着、6歳初戦のG1ペガサスワールドCターフ9着と大敗が続いたが、3月1日にメイダンで行われた地元の前哨戦G2シングスピールSでは、好位から抜け出す危なげのない内容で快勝。復調を印象づけている。

2024年に続くこのレース連覇を狙うのが、仏国調教馬**ファクトゥールシュヴァル**

（騾6歳）だ。ダートに挑んだここ2戦は負けが続いたが、主戦場に戻るここでは見直す必要がある。

このレース過去10回で5勝（1着同着を含む）と相性の良い日本は、4頭出して臨む。

23年の牝馬三冠馬**リバティア일랜드**（牝5歳）。さらなる飛躍が期待された24年は、3戦未勝利という不本意な成績に終わったが、ロマンチックウォリアーの2着となった暮れのG1香港Cの内容は、復活への確かな手応えを感じさせるものだった。

4歳春から一貫して芝1600mの重賞戦線を歩み、6歳秋にしてマイルチャンピ

オンシップ（G1）でG1初制覇を果たした**ソウルラッシュ**（牡7歳）。マイルを越える距離を走るのは3年5か月ぶりだった前走・中山記念（GII）でも勝ち馬から0秒2差の3着に入り、1800mでも戦えることを示している。

23年のエリザベス女王杯（G1）勝ち馬**ブレイディヴェーグ**（牝5歳）。芝1800mはここまで4戦し、アイルランドT府中牝馬S（GII）を含む2勝、2着2回と、得意としている条件である。

今年出走メンバーにあって、随一の先行力を誇るのが**メイショウタバル**（牡4歳）だ。

●主な出走予定馬

馬名	調教国	性別	年齢	戦績	主な勝鞍
ソウルラッシュ	日本	牡	7	24戦 8勝	24マイルチャンピオンシップ（G1）
ブレイディヴェーグ	日本	牝	5	8戦 4勝	23エリザベス女王杯（G1）
メイショウタバル	日本	牡	4	9戦 4勝	24神戸新聞杯（GII）
リバティア일랜드	日本	牝	5	10戦 5勝	23桜花賞、オークス、秋華賞などG1・4勝
ネーションズプライド	アラブ	牡	6	21戦11勝	23ダルマイヤー大賞、カナディアンインターナショナルなどG1・4勝
ロマンチックウォリアー	フランス	騾	7	24戦18勝	22・23・24香港C、24安田記念などG1（G1）・10勝



ソウルラッシュ



ブレイディヴェーグ



メイショウタバル



リバティア일랜드



ネーションズプライド

写真：アフロ



ロマンチックウォリアー

写真：REX/アフロ

当コーナーの情報は3月25日時点のものです。出走回避・出走取消などによりレースに出走しない可能性がございます。
当コンテンツの内容においては、JRAが特定の馬の応援や推奨などを行うものではありません。

Dubai World Cup Day

ドバイワールドカップデー 日本馬の足跡 Part①

ドバイゴールデンシャヒーン

【G1】ダート1200m

ドバイワールドカップデーのG1・4レースで唯一、日本調教馬の勝利がないのが本競走。2着が最高位である。

●日本馬の成績(2017年以降)

年	馬名	性齢	騎手	調教師	着順	人気
2024	ドンフランキー	牡5	C. デムーロ	斉藤 崇史	2着	5人気
	リメイク	牡5	川田 将雅	新谷 功一	4着	2人気
	ケイアイドリ	牡7	C. ルメール	村山 明	9着	12人気
2023	リメイク	牡4	武 豊	新谷 功一	5着	7人気
	レッドルゼル	牡7	川田 将雅	安田 隆行	6着	2人気
	レモンポップ	牡5	坂井 瑠星	田中 博康	10着	1人気
	ジャスティン	牡7	B. ムルザバエフ	矢作 芳人	12着	10人気
2022	レッドルゼル	牡6	川田 将雅	安田 隆行	2着	2人気
	チェーンオブラブ	牝5	坂井 瑠星	小笠 倫弘	4着	6人気
2021	レッドルゼル	牡5	R. ムーア	安田 隆行	2着	4人気
	コバノキッキング	騾6	W. ビュイック	村山 明	5着	3人気
	ジャスティン	牡5	坂井 瑠星	矢作 芳人	11着	6人気
	マテラスカイ	牡7	戸崎 圭太	森 秀行	12着	5人気
2019	マテラスカイ	牡5	武 豊	森 秀行	2着	5人気
2018	マテラスカイ	牡4	武 豊	森 秀行	5着	5人気
2017	ディオスコリダー	牡3	S. フォーリー	高橋 義忠	11着	—

※JRA調教馬が対象。JRAで馬券発売された2017年以降を掲載(2017年のドバイゴールデンシャヒーンはJRAでの発売なし)。人気はJRAでの発売のもの。2020年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催中止



写真:REX/アフロ

日本馬は過去に2着が4回。2019年のマテラスカイ(帽色・赤)は逃げたアメリカのエックスワイジェット(中央)に最後まで食らいつき1馬身半差の惜敗であった。



写真:AP/アフロ

【昨年のレース】

地元UAEのタズが日本のドンフランキーに6馬身半差をつける圧勝劇でG1初勝利。

ドバイターフ

【G1】芝1800m

近7回で優勝3回、2着5回と抜群の成績を残している日本調教馬。今年も期待がかかる。

●日本馬の成績(2017年以降)

年	馬名	性齢	騎手	調教師	着順	人気
2024	ナミュール	牝5	C. デムーロ	高野 友和	2着	7人気
	ダノンベルーガ	牡5	J. モレイラ	堀 宣行	3着	4人気
	ドウデュース	牡5	武 豊	友道 康夫	5着	1人気
	マテンロウスカイ	騾5	横山 典弘	松永 幹夫	15着	9人気
2023	ダノンベルーガ	牡4	J. モレイラ	堀 宣行	2着	1人気
	セリフォス	牡4	D. レーン	中内田充正	5着	3人気
	ヴァンドギャルド	牡7	M. バルザローナ	藤原 英昭	14着	7人気
	ドウデュース	牡4	武 豊	友道 康夫	取消	—
2022	バンサラッサ	牡5	吉田 豊	矢作 芳人	1着	2人気
	ヴァンドギャルド	牡6	M. バルザローナ	藤原 英昭	3着	7人気
	シュネルマイスター	牡4	C. ルメール	手塚 貴久	8着	1人気
2021	ヴァンドギャルド	牡5	M. バルザローナ	藤原 英昭	2着	4人気
2019	アーモンドアイ	牝4	C. ルメール	国枝 栄	1着	1人気
	ヴィブロス	牝6	M. バルザローナ	友道 康夫	2着	4人気
	ディアドラ	牝5	J. モレイラ	橋田 満	4着	3人気
2018	ヴィブロス	牝5	C. デムーロ	友道 康夫	2着	4人気
	リアルスティール	牡6	M. バルザローナ	矢作 芳人	3着同着	1人気
	ディアドラ	牝4	C. ルメール	橋田 満	3着同着	7人気
	クロコスミア	牝5	岩田 康誠	西浦 勝一	7着	9人気
	ネオリアリズム	牡7	J. モレイラ	堀 宣行	8着	3人気
2017	ヴィブロス	牝4	J. モレイラ	友道 康夫	1着	5人気

※JRA調教馬が対象。JRAで馬券発売された2017年以降を掲載。人気はJRAでの発売のもの。2020年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催中止。2022年バンサラッサはロードノースと1着同着



写真:REX/アフロ

2019年は前年の年度代表馬アーモンドアイが単勝1.2倍(JRAでの発売)の圧倒的人気に応じて、海外初遠征初勝利を飾った。2着も日本馬ヴィブロス。



写真:REX/アフロ

【昨年のレース】

フランスのファクトゥールシュヴァル(馬番6)が日本のナミュール(手前)らを振り切って優勝。

ドバイワールドカップデー 日本馬の足跡 Part②

ドバイシーマクラシック

【G1】 芝2410m

G2格付けだった2001年にステイゴールドが優勝したことで知られる本競走。17年以降の日本調教馬は2勝を挙げている。

●日本馬の成績(2017年以降)

年	馬名	性別	騎手	調教師	着順	人気
2024	シャフリヤール	牡6	C. デムーロ	藤原 英昭	2着	6人気
	リバディアイランド	牝4	川田 将雅	中内田充正	3着	1人気
	ジャスティンパレス	牡5	J. モレイラ	杉山 晴紀	4着	4人気
	スターズオンアース	牝5	L. デットーリ	高柳 瑞樹	8着	3人気
2023	イクイノックス	牡4	C. ルメール	木村 哲也	1着	1人気
	シャフリヤール	牡5	C. デムーロ	藤原 英昭	5着	3人気
2022	ウインマリリン	牝6	D. レーン	手塚 貴久	6着	6人気
	シャフリヤール	牡4	C. デムーロ	藤原 英昭	1着	4人気
	オーソリティ	牡5	C. ルメール	木村 哲也	3着	2人気
	ユーバーレーベン	牝4	D. レーン	手塚 貴久	5着	7人気
	グローリーヴェイズ	牡7	C. スミヨン	尾関 知人	8着	5人気
	ステラヴェローチェ	牡4	M. デムーロ	須貝 尚介	9着	3人気
2021	クロノジェネシス	牝5	北村 友一	斉藤 崇史	2着	1人気
	ラヴズオンリーユー	牝5	O. マーフィー	矢作 芳人	3着	3人気
2019	シュヴァルグラン	牡7	H. ボウマン	友道 康夫	2着	4人気
	スワーヴリチャード	牡5	J. モレイラ	庄野 靖志	3着	3人気
	レイデオロ	牡5	C. ルメール	藤沢 和雄	6着	1人気
2018	レイデオロ	牡4	C. ルメール	藤沢 和雄	4着	2人気
	モズカッチャン	牝4	C. デムーロ	鮫島 一步	6着	4人気
2017	サトノクラウン	牡6	J. モレイラ	堀 宣行	7着	3人気
	サウンズオブアース	牡6	C. ルメール	藤岡 健一	6着	4人気

※JRA調教馬が対象。JRAで馬券発売された2017年以降を掲載。人気はJRAでの発売のもの。
2020年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催中止



写真:ZUMA Press/アフロ

2023年は逃げた日本のイクイノックスが圧巻の勝利。着差は3馬身半、勝利タイムは従来のレコードを1秒も縮める2分25秒65という驚異的なものであった。



写真:REX/アフロ

【昨年のレース】

2022年の覇者で日本のシャフリヤール(左)が追い込む優勝はUAEのレベルスロマンス(右)。

ドバイワールドカップ

【G1】 ダート2000m

日本調教馬はオールウェザーでの開催だった2011年にヴィクトワールピサが、23年にウシュバテソーロがダート開催で勝利。

●日本馬の成績(2017年以降)

年	馬名	性別	騎手	調教師	着順	人気
2024	ウシュバテソーロ	牡7	川田 将雅	高木 登	2着	1人気
	ウィルソンテソーロ	牡5	原 優介	小手川 準	4着	7人気
	トゥラエレーデ	牡4	B. ムルザバエフ	池添 学	5着	8人気
	デルマソトガケ	牡4	O. マーフィー	音無 秀孝	6着	2人気
2023	ウシュバテソーロ	牡6	川田 将雅	高木 登	1着	4人気
	テーオーケインズ	牡6	O. マーフィー	高柳 大輔	4着	8人気
	クラウンブライド	牡4	D. レーン	新谷 功一	5着	10人気
	パンサラッサ	牡6	吉田 豊	矢作 芳人	10着	2人気
	ジオグリフ	牡4	C. ルメール	木村 哲也	11着	5人気
	カフェファラオ	牡6	J. モレイラ	堀 宣行	12着	9人気
	ヴェラアズール	牡6	C. デムーロ	渡辺 薫彦	13着	7人気
	ジュンライトボルト	牡6	R. ムーア	友道 康夫	15着	6人気
	チュウワウィザード	牡7	川田 将雅	大久保龍志	3着	3人気
2022	チュウワウィザード	牡6	戸崎 圭太	大久保龍志	2着	4人気
2019	ケイティブレイブ	牡6	J. モレイラ	杉山 晴紀	取消	—
2018	アウォーディー	牡8	武 豊	松永 幹夫	6着	6人気
	アウォーディー	牡7	武 豊	松永 幹夫	5着	2人気
	ラニ	牡4	R. ムーア	松永 幹夫	8着	7人気
	アポロケンタッキー	牡5	C. ルメール	山内 研二	9着	5人気
	ゴールドドリーム	牡4	J. モレイラ	平田 修	14着	4人気

※JRA調教馬が対象。JRAで馬券発売された2017年以降を掲載。人気はJRAでの発売のもの。
2020年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催中止



写真:AP/アフロ

2023年は日本のウシュバテソーロが直線で鋭く追い込むと、粘るイギリスのアルジールズを突き放して優勝。ダート開催の日本馬勝利は初めてのこと。



写真:AP/アフロ

【昨年のレース】

UAEのローレルリバーが8馬身半差の勝利で地元の期待に応えた。2着は前年の覇者で日本のウシュバテソーロ。

海外競馬解説者・合田直弘氏によるレース展望

ドバイシーマクラシック

G1 ドバイ・メイダン競馬場 芝2410m
北半球産馬4歳以上、南半球産馬3歳以上

日本時間 4月6日(日) 0時50分発走予定

※発走時刻は変更となる場合があります。
変更情報は、JRAホームページなどでご確認ください。

今年も欧州・UAE・日本の三つ巴か

近年のこのレースは、欧州調教馬、UAE調教馬(＝ゴドルフィン)、日本調教馬という、3つの勢力がほぼ互角の戦いをしている。

今年、欧州を代表するのがカラダガン(驕4歳)だ。3歳だった昨年、馬場の硬軟を問わずに3重賞を制覇し、世界ランキング5位タイという高い評価を受けた馬だ。昨年後半は芝2000m路線の王道を歩んだが、6月に6馬身差で快勝したロイヤルアスコットのG2キングエドワードVII世Sは芝2400m路線のレースで、むしろここそが適距離と筆者は見ている。

UAE勢の筆頭が、このレース連覇を狙うレベルスロマンス(驕7歳)だ。6歳だった昨年、世界5か国で重賞制覇を果たした同馬。このうち3戦において、2着に入っていたのは日本調教馬で、チームジャパンにとって天敵と言える存在となっている。

この路線のエース級を揃えての参戦となるのが、日本勢だ。

2024年の日本ダービー(GI)勝ち馬ダノンデサイル(牡4歳)。今季の始動戦となったアメリカジョッキークラブC(GII)を快勝してダービー後の連敗に終止符を打ち、再び上昇気流に乗っての参戦となる。

残る3頭は、24年のジャパンカップ(GI)で顔を合わせ、2～4着に入った馬たちだ。

3歳だった昨年、オークス(GI)、秋華賞(GI)を制し、JRA賞最優秀3歳牝馬の座に就いたチェルヴィニア(牝4歳)。今季初戦となった京都記念(GII)大敗は気懸かりだが、14年のこのレースを制した際のジェンティルドンナも、直前の京都

記念では着外(6着)に敗れていた。

昨年8月のG1英インターナショナルS5着以来、2度目の海外遠征となるドゥレツァ(牡5歳)。そのインターナショナルSは、24年のワールドベストレースに認定された超ハイレベルの一戦だった。世界の強豪と鎗を削ることで鍛えられた成果が、ジャパンカップ2着同着という結果に表れたと見ている。

ドゥレツァとジャパンカップ2着を分け合ったシンエンペラー(牡4歳)。今季初戦となったG2ネオムターフCを快勝。改めて世界を獲りに行く年を、最高の形でスタートさせている。

●主な出走予定馬

馬名	調教国	性別	戦績	主な勝鞍
シンエンペラー	日本	牡4	10戦 3勝	25ネオムターフC(G2)
ダノンデサイル	日本	牡4	8戦 4勝	24日本ダービー(GI)
チェルヴィニア	日本	牝4	8戦 4勝	24オークス、秋華賞 ※すべてGI
ドゥレツァ	日本	牡5	10戦 5勝	23菊花賞(GI)
カラダガン	フランス	驕4	8戦 4勝	24キングエドワードVII世S(G2)
レベルスロマンス	アラブ	驕7	23戦16勝	22・24ブリーダーズCターフなどG1・7勝



シンエンペラー

写真:ZUMA Press/アフロ



ダノンデサイル



チェルヴィニア



ドゥレツァ



カラダガン

写真:ロイター/アフロ



レベルスロマンス

写真:AP/アフロ

当コーナーの情報は3月25日時点のものです。出走回避・出走取消などによりレースに出走しない可能性がございます。
当コンテンツの内容においては、JRAが特定の馬の応援や推奨などを行うものではありません。

Dubai World Cup Day

海外競馬解説者・合田直弘氏によるレース展望 ☆

ドバイワールドカップ G1

ドバイ・メイダン競馬場 ダート2000メートル
北半球産馬4歳以上、南半球産馬3歳以上

日本時間 4月6日(日) 1時30分発走予定

※発走時刻は変更となる場合があります。
変更情報は、JRAホームページなどでご確認ください。

強力日本勢に地元馬らが対峙

今年の出走予定馬の中で、海外競馬関係者の評価が極めて高いのが**フォーエバーヤング**(牡4歳)だ。後世まで語り継がれる名勝負となった今季初戦のG1サウジCの後は、さすがにダメージがあったようだが、今年はドバイ開催の日程が例年より1週間遅く、充分な回復期間を設けることが出来たのは幸いだった。サウジCとドバイワールドCを連覇した馬はこれまでおらず、ここも勝てば史上初の「中東ダブル」達成となる。

2023年のこのレースの勝ち馬で、前走サウジCでも3着に入り存在感を示した古豪**ウシュバテソーロ**(牡8歳)は、ここがラストランと言われている。昨年このレースの4着馬で、前走サウジCも4着だった**ウィルソンテソーロ**(牡6歳)も上位争いに絡む1頭だろう。サウジCは6着だった**ラムジェット**(牡4歳)だが、3着馬には3馬身しか負けておらず、メイダンのダートがフィットすれば馬券に絡む可能性は大いにありそう。

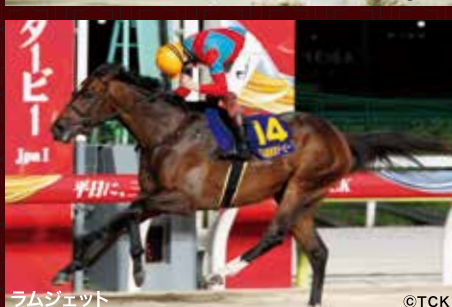
「ダートの本家」米国から参戦するのが**ヒットショー**(牡5歳)だ。3歳春、G1ケンタッキーダービー、G1ベルモントSでいずれも掲示板に載った同馬(5着、4着)。昨年8月にG3ウェストバージニアガヴァナースSを制し2度目の重賞制覇後、カタールの首長シェイク・タミームの競馬組織ワスナンレーシングがトレードで獲得。その後、強力な末脚を武器にダート1700～1800メートルの重賞を3勝し、重賞通算勝利数を5に伸ばしている。

昨年のこのレースを8馬身1/2差で快

勝したローレルリバーは、体調が整わず残念ながら回避することになったが、同馬を管理するブパット・シーマー厩舎から、**インベリアルエンペラー**(騾5歳)という注目の新興勢力が出走する。愛国産馬で、英ダービー候補と目された時期もあったが、祖国では大成せず、今季からUAEに移籍。メイダンのダートを走るようになって大化けし、現地3月1日に行われた地元の前哨戦G2アルマクトゥームクラシックを約8馬身1/2差で快勝しての参戦となっている。

●主な出走予定馬

馬名	調教国	性別	戦績	主な勝鞍
ウィルソンテソーロ	日本	牡6	22戦 8勝	24JBCクラシック (JpnI)
ウシュバテソーロ	日本	牡8	38戦 11勝	22・23東京大賞典、23ドバイワールドCなどGI/G1/JpnI・4勝
フォーエバーヤング	日本	牡4	10戦 8勝	24東京大賞典、25サウジCなどGI/G1/JpnI・4勝
ラムジェット	日本	牡4	10戦 5勝	24東京ダービー (JpnI)
インベリアルエンペラー	アラブ	騾5	10戦 5勝	25アルマクトゥームクラシック (G2)
ヒットショー	アメリカ	牡5	17戦 8勝	24ルーカスクラシックS、フェイエットS ※すべてG2



当コーナーの情報は3月25日時点のものです。出走回避・出走取消などによりレースに出走しない可能性がございます。
当コンテンツの内容においては、JRAが特定の馬の応援や推奨などを行うものではありません。

Dubai World Cup Day



MEYDAN RACECOURSE ★ メイダン競馬場 ★ コース紹介

メイダン競馬場はアラブ首長国連邦(UAE)を代表する競馬場。G1ドバイワールドカップ(ダート2000m)をメインレースとして、サラブレッドによる5つのG1を含む8つの重賞とアラブ馬による1つのG1を1日でまとめて行い、UAE競馬のハイライトとなっている「ドバイワールドカップデー」の舞台となるだけでなく、UAEで施行されるサラブレッドの重賞33レースの内、実に32レースの開催場(7つあるG1は全てメイダン競馬場で行われる)にもなっている。

メイダン競馬場がオープンしたのは2010年1月28日の

こと。それまでのナドアルシバ競馬場に替わる競馬場として、その隣接地に約1800億円もの巨費を投じて建設された。隣り合うホテルと合わせれば全長1kmを超えるスタンドは圧倒的なスケールを誇る。

競馬場は、楕円型左回りの平坦コースで、1周2400m(最後の直線450m)の芝コースと、その内側に1750m(最後の直線400m)のダートコースというレイアウト。芝コースでは2コーナーと4コーナーにそれぞれ1本、ダートコースでは2コーナーに2本のシュート(引き込み走路)が設けられており、これらを組み合わせる形でレースが開催されている。

芝は、ベースとなるバミューダグラスにペレニアルライグラスをオーバーシードした馬場で、香港のシャティン競馬場と同じ。ダートは、日本のダートよりも細かい砂が多く、アメリカのダートに近い印象がある。

(海外競馬評論家・秋山 響)

馬券の購入方法、レース視聴方法などは本誌モノクロページおよびJRAホームページにてご確認ください。発走時刻などは変更となる場合があります。変更情報はJRAホームページでご確認ください。

